

人間を救うのは、人間だ。

Our world. Your move.

令和6年度
赤十字活動の
ご報告



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

兵庫県支部



赤十字は、日本赤十字社法、災害救助法、災害対策基本法などによって、災害発生直後から復興期までの救護活動やこころのケア活動を行う組織として位置付けられています。

また、三木市に整備した「日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター」において、施設機能を活かして救護員研修などを実施し、更なる災害救護体制の充実と強化に努めています。

1. 救護班と救護員の編成及び各種防災・救護訓練の実施

自然災害や大事故が発生した場合の救護要請に備え、県内3カ所の赤十字病院に医療救護班を編成し、救護活動が途切れることのないように努めています。

あわせて、活動を円滑にするための災害医療コーディネートチームや被災者へのこころのケアを実践するため、こころのケア班も編成しています。

姫路及び神戸赤十字病院では、災害の超急性期に対応する日本DMAT(災害派遣医療チーム)隊員に60名を登録し、発災直後に医療救護が行えるよう資機材を含め、備えています。

今後、いつ発生するかもしれない大災害に備え、赤十字間の連携を強めるとともに、他機関との訓練では企画等の段階から参画し、連携を図りながら、効果的な訓練を実施しました。



● 主な救護訓練参加状況

6月	日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練
9月	兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練
	三木市総合防災訓練
10月	大阪国際空港航空機事故対策部分訓練
11月	近畿地方DMATブロック訓練
	神戸空港航空機事故総合対策訓練
	兵庫県警察本部総合警備訓練
1月	1.17ひょうご安全の日防災訓練
2月	兵庫県・神戸市国民保護図上訓練

● 救護班数

姫路赤十字病院	8班
多可赤十字病院	2班
神戸赤十字病院	5班
合計	15班

● 救護班の編成基準

医 師	1人
看護師	3人
主 事	2人
1班合計	6人

● 日本DMAT隊員登録数

	医 師	看護師	業務調整員	計
姫路赤十字病院	3人	9人	8人	20人
神戸赤十字病院	10人	5人	25人	40人
合 計	13人	14人	33人	60人

● 救護員研修会

5月	救護員技術研修(テールゲートリフター特別教育)	8月	全国救護班要員研修
6月	救護員基礎・実践研修	11月	災害拠点病院研修
7月	災害システム研修	1月	こころのケア要員フォローアップ研修
	都道府県災害医療コーディネート研修	2月	日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修会
7・11月	日赤災害医療コーディネート研修	3月	兵庫県災害医療ロジスティクス研修
7・2月	災害派遣医療チーム技能維持研修		支部災害対策本部要員研修
		4半期毎	衛星電話通信研修

2. 救援物資の備蓄・配布

個人の住宅やマンションが火災や水害等に遭われた際、毛布や緊急セットなどを配布しました。また、不幸にもお亡くなりになられた場合には、ご遺族に災害見舞金を交付しました。



毛布

緊急セット

安眠セット

タオルケット

区 分	配布数	備蓄在庫数
毛布	188枚	5,623枚
緊急セット	128セット	3,016セット
安眠セット	0セット	799セット
タオルケット	0枚	5,999枚
災害見舞金の交付15件		340,000円

(令和7年3月末現在)

3. 赤十字防災ボランティア

赤十字の災害救護活動に協力することを目的として、現在、防災ボランティアリーダー6人、サブリーダー1人、そして個人ボランティア58人が赤十字防災ボランティアとして登録しています。

令和6年度は、実践研修会・総合訓練においてハイゼックスを使った炊き出し、一次救命処置、ぎずの手当、ロープワークなどを行いました。



4. 国内災害義援金・海外救援金の受付額

令和6年度に兵庫県支部でお受けした災害義援金、海外救援金は次表のとおりです。

(円)			(円)		
義援金	令和6年能登半島地震災害	36,417,030	救援金	アフガニスタン人道危機	54,611
	令和6年7月25日からの大雨災害	67,073		ウクライナ人道危機	1,368,737
	令和6年9月能登半島大雨災害	14,899,828		イスラエル・ガザ人道危機	178,496
	令和6年沖縄県北部豪雨災害	3,341		2024年台湾東部沖地震	5,070,208
	令和7年大船渡市赤崎町林野火災	1,308,524		レバノン人道危機	1,224
救援金	中東人道危機	551		海外無指定	44,250
	バングラデシュ南部避難民	342,256	義援金・救援金 合計		59,756,129
(令和7年3月末現在)					

2 健康と安全を守る講習

赤十字では、誰もが持っている「苦しんでいる人を助けたいという優しい心」、その優しさを行動に移す“自信”と“勇気”を持っていたるように、AED(自動体外式除細動器)を活用した心肺蘇生をはじめ、救急法や健康生活支援講習などの講習と赤十字防災セミナーを県内各地やオンラインで開催しました。

開催実績	区 分	基礎・養成講習		短期講習		オンライン講習		指導員養成講習	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
	救急法	60	1,064	173	6,210	16	119	1	16
	幼児安全法	5	57	49	909	6	10	—	—
	水上安全法	1	18	13	521	—	—	—	—
	健康生活支援講習	5	64	14	412	4	6	—	—
	防災セミナー	—	—	31	1,149	7	19	—	—

(令和7年3月末現在)



3 赤十字奉仕団

赤十字の使命とする人道的な諸活動を身近な社会の中で実践しようとする人々が集って結成されたボランティアの組織です。兵庫県支部では、市町を基盤にした地域奉仕団(45団、30,710人)、専門的な技能をもった人々による特殊奉仕団(9団、475人)、学生が中心となった青年奉仕団(2団、148人)が組織され、様々な活動を展開しています。

1. 地域赤十字奉仕団

(1) 地域赤十字奉仕団員研修会

9～12月、地域赤十字奉仕団員研修会を県内19地域(たつの市・明石市・西脇市・香美町・洲本市・伊丹市・川西市・高砂市・姫路市・神戸市長田区・加東市・神戸市灘区・播磨町・神戸市北区・芦屋市・丹波市・加西市・新温泉町・太子町)で実施し、赤十字奉仕団員、地域住民471人が「赤十字のしくみと活動」、「ひなんじょたいけん」などの研修に参加しました。

(2) たつの市赤十字奉仕団再結成

12月、たつの市赤十字奉仕団が4年ぶりに活動を再開しました。

令和5年度から有志による検討会を重ね、赤十字奉仕団再結成に向けた研修会を実施してきました。

今後は、市内全域に団員募集するとともに、近隣市町の赤十字奉仕団と協力して地域防災の普及・啓発に努めます。



2. 特別赤十字奉仕団(青年赤十字奉仕団・特殊赤十字奉仕団)

特別赤十字奉仕団は、赤十字救急法、点字、無線、潜水、写真、通訳など専門的な知識や技術を活かした活動を展開しています。

神戸青年赤十字奉仕団は、県下の幼稚園、保育所などで防災教材「ぼうさいまちがいさがしげんはっけん」を使って災害時の正しい行動などを伝えました。



世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成を目的に、学校教育の場で様々な活動を展開しています。

加盟校数228校 メンバー数72,780人

(令和7年3月末現在)

1. 中学校高等学校青少年赤十字協議会例会

青少年赤十字の実践目標である「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」をテーマに、学期ごとに例会を実施しています。

令和6年度第1学期例会では、第51回神戸まつりメインフェスティバル「おまつりパレード」に参加し、いのちと健康を守る赤十字活動を来場者にPRしました。



2. 青少年赤十字の研修事業および各加盟校での取り組み

(1) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

【8月7日～8日、兵庫県支部災害救護支援センター：中学生12名、高校生34名、指導者10名】

トレセンについてやボランタリーサービス等の学習に加え、救急法競技大会の開催を通してメンバー同士が協力して一次救命処置の手順や三角巾を使った本結び等の手技を学びました。



(2) 地域と連携した防災訓練

各加盟校が実施する防災訓練において、震災・学校支援チーム(EARTH)、福祉事業所、災害救援ボランティア団体などと連携し、地域住民とダンボールベッド・簡易トイレ組立訓練、ペット防災、フレイル予防・防災クッキング、毛布を使った担架搬送・心肺蘇生などを体験しました。



3. 青少年赤十字研究推進校

加盟校における青少年赤十字活動をより充実したものとするため、年度毎に研究推進校を指定し、赤十字の活動に関する研究を委嘱しています。

令和6年度は、小学校1校、高等学校2校の計3校を指定しました。

各校の研究成果は、日本赤十字社兵庫県支部のホームページに掲載しております。

4. 提供プログラム

兵庫県支部では、加盟校が各学校のカリキュラムの中で青少年赤十字活動を展開できるよう、「健康・安全」「福祉教育」「国際理解・国際平和」「防災教育」「その他」の5つの分野の活動プログラムを提供しており、令和6年度は延べ93回実施しました。

(令和7年3月末現在)



世界191の国や地域の赤十字・赤新月社などと連携して、開発途上国の赤十字社への事業支援、また民族紛争や自然災害による被災者への緊急支援・復興支援などの人道的活動を行っています。



1. 国際救援・開発協力要員を海外へ派遣

派遣先	派遣期間	業務内容	派遣者
シリア・アラブ共和国	R5.4.20～R6.4.25	地震救援事業	姫路赤十字病院看護師
バングラデシュ人民共和国	R6.8.9～R7.3.31 ※リモート派遣期間も含む	バングラデシュ南部避難民 保健医療支援事業	神戸赤十字病院看護師

2. レバノン/プライマリーヘルス・スケールアップ事業

日本赤十字社はレバノン赤十字社とともに、シリア難民とレバノンの貧困層を対象とした診療所支援に継続的に取り組んでおり、兵庫県支部もこの活動を支援しました。

3. NHK海外たすけあいキャンペーン

世界各地で多発する自然災害や武力紛争により苦しんでいる人びとを支援するため、42回目となる海外たすけあいキャンペーンを12月に開催し、各地区・分区（県内各市町）などを通じて、広く県民の皆さまからご支援いただきました。

また、赤十字奉仕団や日赤有功会からも多大なるご協力をいただきました。

兵庫県支部の実績額 5,967,050円

(令和7年3月末現在)



国内外の災害救護活動や各地域で安全安心のため取り組まれる赤十字活動は、活動の意義や理念にご賛同いただいた方々からお寄せいただく活動資金と、多くのボランティアの方々の奉仕等によって支えられています。ご協力いただいた活動資金や奉仕活動は、日本赤十字社の組織的基盤であり、活動を推進するうえでの原動力となっています。

■地域からのご協力額

ご協力いただいた活動資金は、被災者の救援活動や災害への備え、そして地域の安全安心のための活動などに役立てられています。各地区・分区（県内各市町）におきましても、活動資金へのご支援をお願いし、多くの方々からご協力をいただきました。

(円)

市・町名	ご協力額 ()は地区分区受付分	市・町名	ご協力額 ()は地区分区受付分	市・町名	ご協力額 ()は地区分区受付分
神戸市	84,739,480 (25,963,518)	三木市	3,792,711 (2,640,253)	たつの市	11,027,415 (9,043,698)
姫路市	65,457,701 (49,537,995)	高砂市	24,165,311 (6,279,801)	阪神北 猪名川町	1,684,746 (1,124,746)
尼崎市	27,612,047 (14,208,164)	川西市	11,812,760 (4,495,031)	東播磨 稲美町	4,147,580 (2,909,580)
明石市	13,646,003 (2,439,117)	小野市	5,021,245 (4,280,704)	播磨町	3,322,843 (3,160,343)
西宮市	109,606,262 (35,085,142)	三田市	3,834,598 (2,903,209)	北播磨 多可町	3,187,430 (2,328,000)
洲本市	2,977,501 (2,013,230)	加西市	4,250,216 (3,691,511)	中播磨 市川町	1,880,968 (1,669,600)
芦屋市	7,055,512 (3,159,946)	丹波篠山市	6,315,257 (4,363,257)	福崎町	8,604,497 (2,394,654)
伊丹市	9,724,762 (4,604,996)	養父市	3,373,150 (3,158,150)	神河町	1,846,013 (1,736,013)
相生市	4,674,354 (4,169,354)	丹波市	7,542,456 (6,847,001)	太子町	3,708,973 (3,226,159)
豊岡市	10,032,662 (9,327,462)	南あわじ市	6,000,710 (4,618,710)	西播磨 上郡町	2,474,050 (2,359,050)
加古川市	16,529,826 (8,969,881)	朝来市	6,106,578 (3,787,078)	佐用町	2,669,000 (2,480,000)
赤穂市	25,474,617 (6,905,300)	淡路市	5,135,259 (4,515,059)	但馬 香美町	2,982,387 (2,549,387)
西脇市	3,552,083 (3,062,283)	宍粟市	5,306,304 (4,931,517)	新温泉町	2,093,800 (2,034,800)
宝塚市	9,344,993 (5,666,890)	加東市	4,076,569 (3,405,800)	県外・その他	2,822,090
				合 計	539,612,719 (272,046,389)

(令和7年3月末現在)

7

医療事業

姫路、多可、神戸の赤十字病院では、いずれも各地域の中核病院として救急医療やへき地医療など安全で安心な医療サービスの提供を行うとともに、日本赤十字社の使命でもある災害救護活動や国際活動を展開できる体制の強化を図りました。

姫路赤十字病院 | 住 所:〒670-8540 姫路市下手野1-12-1
電話番号:079-294-2251

標榜科目 内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、肝臓内科、腎臓内科、糖尿病内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、小児外科、外科、乳腺外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科頭頸部外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、化学療法内科

多可赤十字病院 | 住 所:〒679-1114 多可郡多可町中区岸上280
電話番号:0795-32-1223

標榜科目 内科、外科、整形外科、脳神経外科、婦人科、眼科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、皮膚科、精神科、麻酔科、歯科

神戸赤十字病院 | 住 所:〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-3-1
電話番号:078-231-6006

標榜科目 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、心療内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、皮膚科、病理診断科

● 令和6年度 業務実績

(人)

区分	姫路		多可		神戸	
	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均
外来患者	329,326	1,361	30,326	125	123,463	510
入院患者	181,201	496	26,010	71	90,919	249

8

看護師養成

姫路赤十字看護専門学校では、一般の看護教育にとどまらず、国内外の災害救護活動においても活躍できる看護師の養成を行いました。

● 定員数、在籍者総数

(人)

定員数	学年	1年生	2年生	3年生	合計
各学年40名	令和6年度学生数	41	41	44	126

(令和7年3月末現在)

● 卒業生

	卒業生数	国家試験合格率	就職・進学率
令和6年度	44名	100%	100%

9

血液事業

血液事業では、全国7カ所にブロック血液センターを置き、献血者や血液製剤の安全対策の充実や血液製剤の安定供給をはじめ、事業の効率化、健全な経営基盤の確立を図っています。兵庫県赤十字血液センターは、近畿ブロック血液センター内の地域血液センターとして、県内6カ所の献血ルームと移動採血車で、県民の皆様や県内で働く方々に献血いただく「採血業務」と、血液製剤を県内の医療機関にお届けする「供給業務」を担っています。

令和6年度においても、前年度に引き続き献血Web予約の推進を行うことにより、安定的に献血者を確保して、兵庫県内だけでなく近畿管内全体の安定供給に貢献することができました。

また、各種SNSや献血セミナー等を活用し、若年層を中心とした幅広い年齢層を対象に、様々な献血推進活動を展開しました。

主な
取り組み例

- ・ はたちの献血キャンペーン
- ・ 愛の献血助け合い運動
- ・ 全国学生クリスマス献血キャンペーン
- ・ 世界献血者デー
- ・ 献血セミナー

● 献血者の受入

(人)

成分献血	400mL献血	200mL献血
58,629	146,543	4,279

(令和7年3月末現在)

● 輸血用血液製剤の供給

(本)

赤血球	血漿	血小板
115,598	36,642	26,738

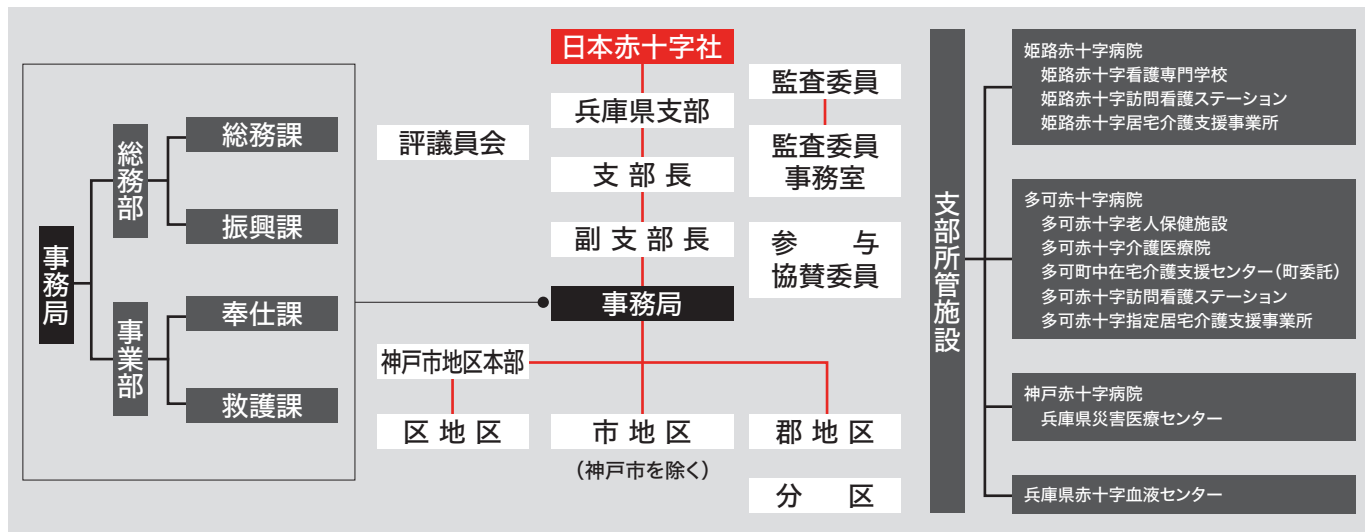
(令和7年3月末現在)

■支 部 長: 齋藤元彦(兵庫県知事)

■副支部長: 山下輝夫(兵庫県保健医療部長)、小原一徳(神戸市副市長)、庵谷典章(兵庫県町村会長)

■監査委員: 3名 ■参与: 3名 ■協賛委員: 8名 ■評議員: 54名

(令和7年3月31日現在)



令和6年度の各施設等の歳入歳出決算を報告します。

一般会計

個人や法人の皆様からの活動資金等を主な財源に、災害救護、救急法等の講習、青少年赤十字やボランティアの活動など、兵庫県支部の事業にかかる収支をまとめたものです。

●日本赤十字社兵庫県支部

(千円)

	科 目	決算額	内 訳
歳入	活動資金収入	539,613	一般からの活動資金収入 480,896千円 法人からの活動資金収入 58,717千円
	補助金、交付金等	19,826	本社交付金、 災害補償収入 (令和6年能登半島地震)
	繰入金	1,100	国際活動資金から繰入
	前年度繰越金等	81,412	前年度繰越金、雑収入
	歳入合計	641,951	
歳出	災害救護事業費	46,122	災害救護に要した費用及び救護整備整備費、 救護看護師の養成経費
	社会活動費	55,807	救急法等の講習普及事業費、 赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費など
	国際活動費	1,000	海外赤十字社支援事業費など
	指定事業地方振興費	49,944	災害救護設備整備費、採血受入機関整備費、 救急医療体制整備費など
	地区区分交付金	56,671	地区区分への事務費及び事業費の交付金
	社業振興費	54,193	活動資金募集及び会員管理費、広報活動費
	基盤整備交付金	6,980	管内施設への基盤整備交付金
	積立金支出	55,100	災害等資金などへの積立金
	本社送納金	71,053	本社への送納金
	管理費等	120,136	管理事務費、資産管理費など
	歳出合計	517,006	
	歳入歳出差引額	124,945	

医療施設特別会計

医療施設の運営等にかかる収支をまとめたもので、赤十字病院等医療施設の診療収入を主な財源として、医療施設運営のための費用等に充てられます。

●県内3赤十字病院(姫路、多可、神戸)

(千円)

	科 目	決算額	内 訳
収益的収入	医療収益	37,830,359	入院及び外来の診療等にかかる収益 入院患者数 298,130人 外来患者数 483,115人
	医療外収益	1,022,193	駐車場や売店等の収益、受取利息等
	医療社会事業収益	38,138	医療社会活動にかかる本社繰入金など
	付帯事業収益	3,128,728	看護専門学校、老人保健施設等の収益
	特別利益	2,855	上記に含まれない過年度収益など
収益的支出	収益的収入合計	42,022,273	
	医療費用	34,248,203	人件費、材料費、委託費など
	医療外費用	250,460	支払利息、駐車場等の管理費など
	医療奉仕費用	534,451	医療社会活動にかかる人件費・経費など
	付帯事業費用	3,184,049	看護専門学校、老人保健施設等の運営にかかる経費など
収支差引額	特別損失	22,834	固定資産にかかる除却損など
	法人税等	24,740	税負担など
	収益的支出合計	38,264,737	
収支差引額	収支差引額	3,757,536	
	黒字施設数	3施設	
	黒字額	3,757,536千円	
	赤字施設数	0施設	
	赤字額	0千円	

※平成24年度から血液事業特別会計は、日本赤十字社本社にて一元化されたため記載しておりません。

あなたの身近に 赤十字



あなたの街の災害救援車

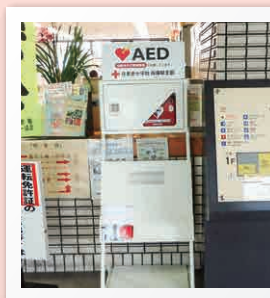
県内の各市町での災害救援や赤十字活動を支援するために災害救援車を配備しています。令和6年度は、芦屋市、丹波篠山市、養父市、丹波市、稲美町に対し、6台の車両を更新しました。



救急医薬品の寄贈・AEDの配備

園児のけがや発熱などの手当にご使用いただくため、966か所の保育園に救急医薬品セットを寄贈しました。

また、警察施設にAED(自動体外式除細動器)を配備し、県民の安全安心に役立てていただいております。



赤十字ポスターコンクール

県内の小・中・高・特別支援学校を対象に「災害からのちを守る赤十字の活動」をテーマに作品を募集したところ、令和6年度は45校274作品の応募があり、32作品が入賞しました。



UR都市機構との連携による地域づくり

日本赤十字社とUR都市機構では令和4年12月に「日本赤十字社とUR都市機構との連携に関する包括協定」を締結しており、共催のイベントとして住民の方を対象とした防災教室を8月にURLゼフィール名谷東団地で、11月にUR武庫川団地で開催しました。



司法書士による相続・遺言セミナーの開催

日本赤十字社と日本司法書士会連合会は、「誰もが健康で心豊かに生活できる社会実現」を目指した包括パートナーシップ協定を締結し、様々な取り組みを行っております。

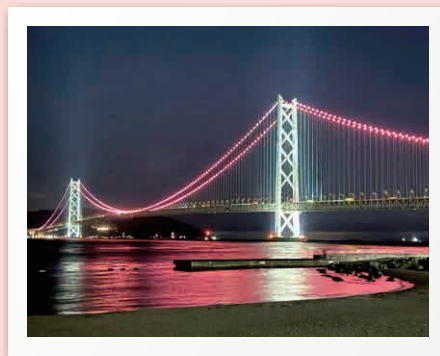
兵庫県支部においても兵庫県司法書士会と連携し、令和6年度は姫路市において「司法書士による相続・遺言セミナー」(10月)を開催しました。



赤十字活動をPR

5月の赤十字運動月間を中心に、赤十字活動を広く知っていただくため、神戸まつりやレッドライトアッププロジェクト、テレビ・ラジオ、YouTubeなどのSNSを活用した広告などでPRを行いました。

開催日	イベント名	関連施設名等
4月21日	神戸まつり「おまつりパレード」	神戸市
5月5日～11日	赤十字レッドライトアッププロジェクト	人と防災未来センター
5月8日		明石海峡大橋



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

赤十字 兵庫

検索

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

